

同時資料提供
大阪科学・大学記者クラブ

平成24年1月6日
大阪市立自然史博物館
担当：学芸課長 川端 清司(地史研究室)
電話 06-6697-6222

大阪市立自然史博物館 特別展「新説・恐竜の成長」

ー世界最大のティラノサウルス実物頭骨化石 日本初公開ー
の開催について

大阪市立自然史博物館では、平成24年3月10日(土)から6月3日(日)まで、特別展「新説・恐竜の成長」を開催します。



恐竜は子どもに大人気です。その中でも、知名度、人気ともに「ティラノサウルス」に勝る恐竜はありません。

特別展「新説・恐竜の成長」(原題：The Growth and Behavior of Dinosaurs)は、映画「ジュラシック・パーク」の監修で有名な、アメリカ・モンタナ州立大学ロッキー博物館の古生物学者ジャック・ホーナー博士とその研究チームによる研究の集大成となる“国際巡回展”です。門外不出と言われていた同館所蔵の「世界最大のティラノサウルス・レックスの実物頭骨化石」などを日本初公開します。

ロッキー博物館は、世界最多8体のティラノサウルスコレクション、そして成長過程を考察することができるトリケラトプスコレクション標本群などを所蔵しています。今回、日本で展示されるロッキー博物館所蔵標本のほとんどはアメリカ国外で展示された例がなく、「日本初公開」となります。またその他、ホーナー博士監修による動く恐竜復元ロボットも登場し、全長12mを超えるティラノサウルスや色が変わるトリケラトプスロボットなども展示します。

「現在、学名がつけられた白亜紀の恐竜のうち、3分の1以上が異なる種ではなく、同一種の成長個体である」ー。古生物学会に大きな議論を巻き起こしたホーナー博士の学説を展示という手法で表した本展は、コアな恐竜ファンから子どもまで幅広く楽しむことができることでしょう。

○**プレス内覧会**を開幕前日の平成24年3月9日(金)午前11時より自然史博物館本館集会所で行います。**プレス内覧会取材申込書**にて前日までにファックスでお申込みください。

○**広報用写真**、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。

広報写真申込書、**招待券申込書**もファックスでお申込みください。

開催概要

- 1 名称 世界最大のティラノサウルス実物頭骨化石 日本初公開！
特別展「新説・恐竜の成長」
- 2 会期 平成24年3月10日（土）～6月3日（日）
※休館日：毎週月曜日（ただし、4月30日は開館）
※開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
- 3 会場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター 2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23
TEL 06-6697-6221, FAX 06-6697-6225, <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
- 4 主催 大阪市立自然史博物館、読売新聞社
- 5 企画 アメリカ・モンタナ州立大学付属ロッキー博物館、ココロ
- 6 監修 アメリカ・モンタナ州立大学付属ロッキー博物館
- 7 観覧料 大人1,200円（1,000円）、高校生・大学生 700円（500円）
※（ ）内は前売料金。上記にて、常設展（大人300円、高大生200円）入場可。
※大阪市内在住の65歳以上の市民の方
・平成24年3月31日（土）までは無料。（要証明）
・平成24年4月1日（日）からは大人料金。
※中学生以下、障がい者手帳持参者（介護者1名を含む）は無料。
※30名以上の団体割引あり。
※前売券は、ローソン、ぴあなど主要プレイガイドで2月11日（土）より発売。

展示の概要について

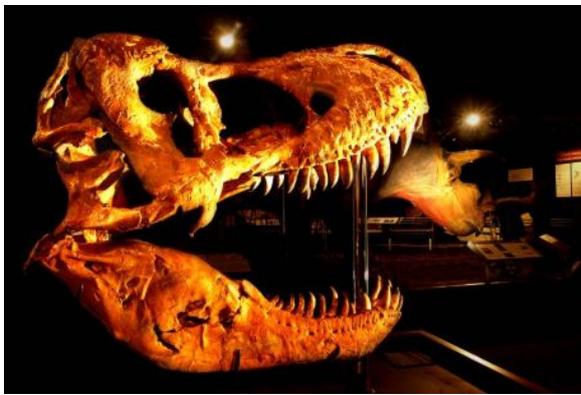
本展では、「恐竜の成長」をテーマに、ホーナー博士が唱える学説について、有名な4種の恐竜（ティラノサウルス、トリケラトプス、ヒパクロサウルス、パキケファロサウルス）を軸に展示解説していきます。

1. ティラノサウルス

モンタナ州からは数多くのティラノサウルスが発見されています。

ここではティラノサウルスの頭の変化を、本特別展最大の見所である、世界最大のティラノサウルスの実物頭骨化石ほかの展示で迫力満点に紹介していきます。

またその他、非常に珍しい、ティラノサウルスの歯形がついたトリケラトプスの骨盤化石を展示し、さらにロボットによりティラノサウルスの噛む様子も再現します。



世界最大のティラノサウルス頭骨(上)。アメリカ国外での展示は日本が初めて。また本展には、全長12メートルの動くロボットも登場。



2. トリケラトプス

トリケラトプスは3本の角と後頭部に大きなフリルをもつ中型の植物食恐竜で、ティラノサウルスに対抗していたと考えられています。

モンタナ州ではとても多く発見されている恐竜です。子どもから大人までの連続的な成長段階の標本コレクションの展示を通して、トリケラトプスの特徴といえる角とフリルが成長段階で劇的に変化するようすを説明します。



成長段階により変化するトリケラトプス頭骨

3. ヒパクロサウルス

ヒパクロサウルスは白亜紀にとっても繁栄したハドロサウルス類の植物食恐竜で、頭部にトサカ状の隆起があります。このトサカの内部は鼻孔から続く長い空洞になっていて、空気を通して音を出していたと考えられています。

子どもから大人までの成長段階の頭骨を展示し、形の違いと共に、空洞から出す音がどのように違っていたのかを、ロボットを交えて紹介します。



ヒパクロサウルス成体頭骨

4. パキケファロサウルス

ヘルメットのような分厚い頭部を持つ、奇妙な顔をした恐竜のひとつです。従来別種と考えられていた3種の恐竜が、この企画展のメインテーマである新説により、成長段階の違いであると考えられるようになりました。その根拠となる標本を紹介します。

パキケファロサウルスの3ステージの成長段階を示す頭骨



●教育的体感展示／大阪会場オリジナル展示

本展最終コーナーでは、ロッキー博物館が行う、発見から発掘、輸送、プレパレートなどの一連の作業をビデオキオスクなどで紹介します。大阪オリジナル展示として、トリケラトプス全身骨格の展示、ティラノサウルスの解説映像上映などを行います。





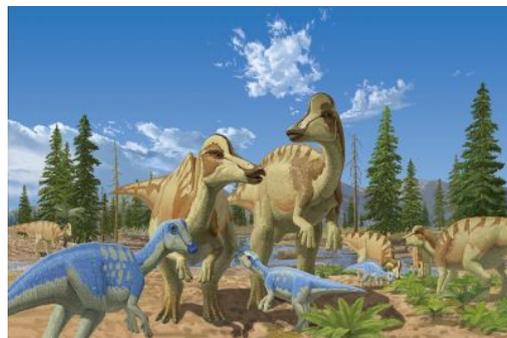
連続的な成長段階の変化を示すトリケラトプス頭骨群



若いティラノサウルスに見つかったトリケラトプスの群れ(復元画)



ヒパクロサウルス成体頭骨



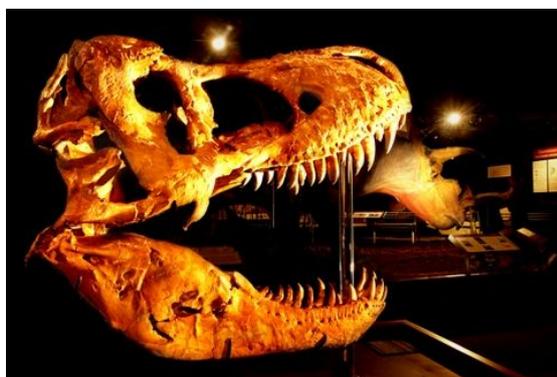
群れで生活するヒパクロサウルス。トサカで作り出す音はどのように届いていたのだろうか(復元画)



パキケファロサウルスの3ステージの成長段階を示す頭骨



頭のドーム部の発達度合いが異なる、子どもと大人のパキケファロサウルス(復元画)



世界最大のティラノサウルス頭骨



最も保存状態の良いティラノサウルス全身骨格化石のひとつ、通称「ワンケル」



鳴く、動く、食べる！全長12メートルの動くティラノサウルスロボット



トリケラトプスの死骸を見つけた大人のティラノサウルス。遠くでは、若いティラノサウルスがトリケラトプスの群れに襲いかかる（復元画）



タイトルロゴ

※復元画のクレジットにつきましては、別途お問合せください。

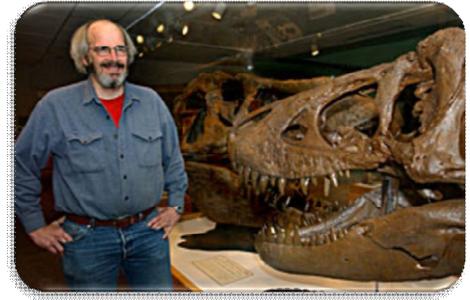
関連行事

会期中、ギャラリーツアーやワークショップなどの開催を予定しています（詳細は後日決まり次第、自然史博物館ホームページなどで発表します）。

展示の監修について

●ジャック・ホーナー博士

Dr. ジャック・ホーナーは、アメリカ・モンタナ州立大学付属ロッキー博物館の古生物学部長であり、今現在も精力的にフィールドワークへのりだし、相次ぐ化石の発見や、センセーショナルな学説で、世界の恐竜研究を牽引している古生物学者です。



子どもの頃に恐竜の化石を見つけたことをきっかけに恐竜に魅了された、と話す彼は、今もとても“T-rex”（ティラノサウルス）に愛されている古生物学者となりました。

数ある恐竜の中でも *Tyrannosaurus rex* 通称 “T-rex” は特別な存在です。地上最大級の肉食動物であり、恐竜時代の最後を飾る華々しい“恐竜の王”は、恐竜ファンでなくてもその名を知るほどの、恐竜の代名詞ともいえます。

その T-rex を世界で一番多く発見し、T-rex のことを最もよく知る彼は、世界の中で最も著名な恐竜学者の 1 人であることは間違いありません。事実彼は、映画『ジュラシック・パーク』のテクニカルアドバイザーを務めていますが、実は主人公である恐竜学者のモデルでもあるのです。

その彼だからこそ言える、ひとつの結論があります。「T-rex は希少な存在ではない。むしろありふれた恐竜だった」。恐竜を生物として多角的に研究する彼が、成長や環境、生態系など幅広く考慮して導き出した結論として口にした言葉です。T-rex は本当にありふれた恐竜なのか。その問いかけをひも解く鍵は、本展のテーマである「恐竜の成長」について学ぶことにあることでしょう。

●アメリカ・モンタナ州立大学付属ロッキー博物館

モンタナ州立大学の一部門であるロッキー博物館は、豊富な化石産出を誇る恵まれた地、モンタナ州にあります。化石標本を採取するフィールド・ワークからプレパレーション作業、研究・保存まで、化石に関わるすべてを一貫して行うことのできる博物館です。

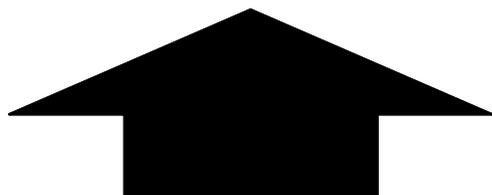


またいち早く組織学的分析を導入するなど、先進的な取り組みと研究で、世界の恐竜学を牽引してきました。

同博物館は、その活動もさることながら、恐竜研究の中でもとりわけ希少な T-r e x 化石を世界最多となる 8 体も発見、世界最高の T-rex コレクションを有し、今回、日本初公開される世界最大の T-rex 頭骨化石もここに含まれています。

また今回の特別展ではメインテーマを「成長」とし、同館所蔵の成長段階を追うことができるトリケラトプス標本群を展示するなど、赤ちゃんから成体に至るまでの「成長過程」をたどります。「この標本群を見れば、専門的な知識がなくても、恐竜の進化を理解することができる」ー、ホーナー博士がそう言うほど、本展には、単なる“お宝”要素だけではなく、ロッキー博物館の貴重な所蔵資料を基にした、きちんとした恐竜研究に基づく学説ーメッセージが込められています。

<FAX送信>



FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課広報 宛

TEL.06-6697-6222, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「新説・恐竜の成長」

プレス内覧会取材申請書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

■ プレス内覧会

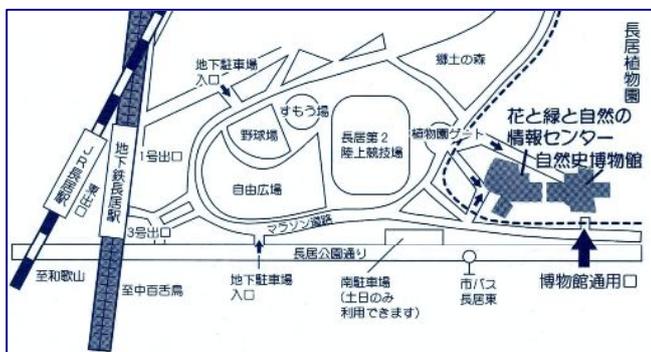
〔日時〕 平成24年3月9日（金）

午前11時～

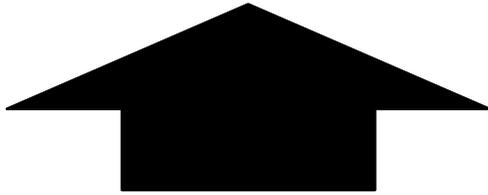
〔会場〕 大阪市立自然史博物館

本館 集会室

※博物館通用口からお越しください。



貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課広報 宛

TEL.06-6697-6222, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

特別展「新説・恐竜の成長」

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。また、貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、特別展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。

お手数ですが、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、ビデオ、カセット、MDなど）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

取材申請・招待券申込書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日	平成24年 月 日 () : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.
掲載記事・放送番組名	
掲載日 (発行日) 放送日時	
招待券 (いずれかに○)	希望する 希望しない

